

信号1回線用相確認試験器

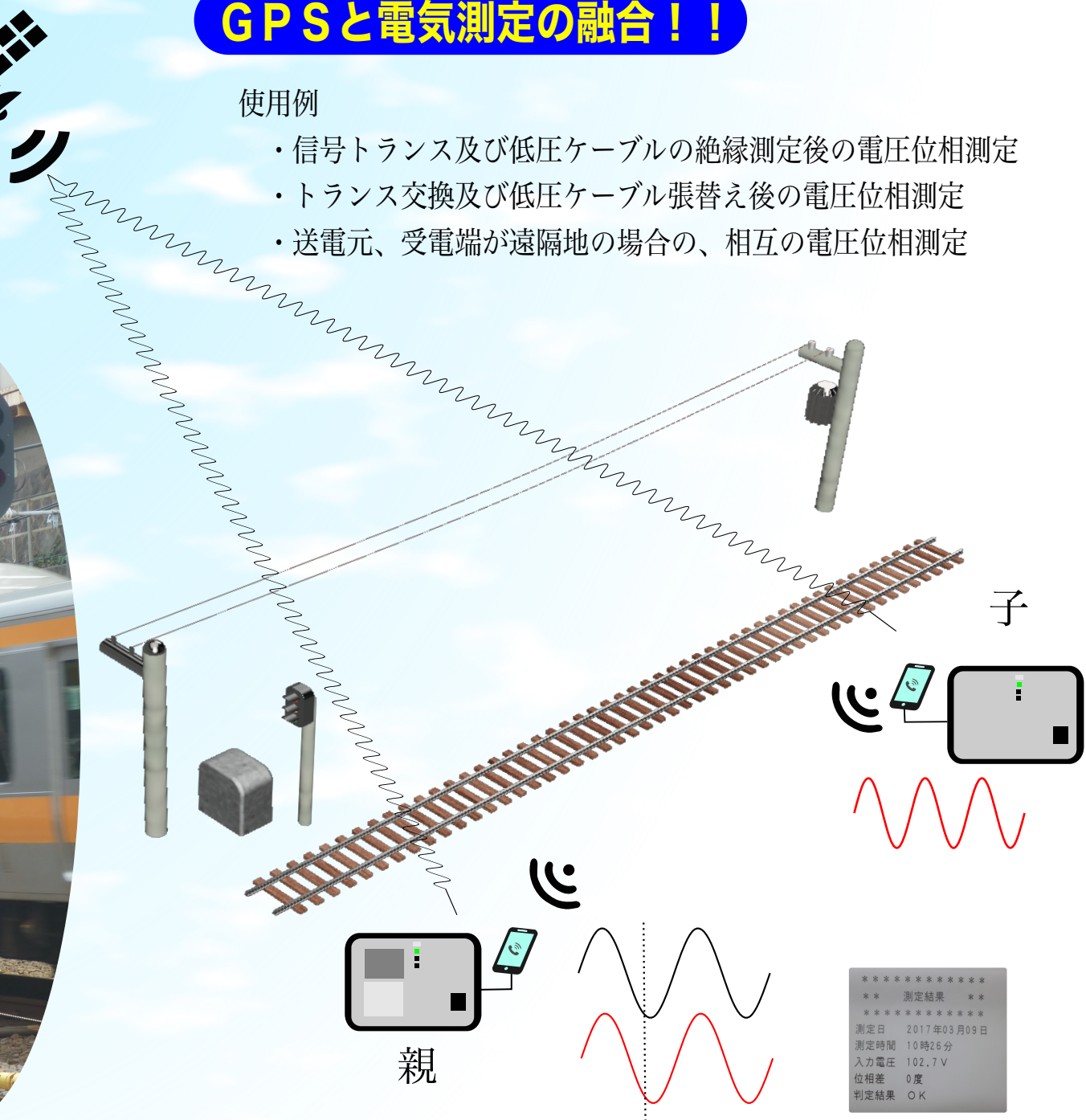
鉄道信号の閉塞方式において、列車在線を示す商用周波軌道回路では、電源電圧の位相差測定は重要な項目です。

この測定器は、特に信号1回線区間において基準となる送電元と受電端の電圧波形を距離に関わらず位相測定、比較できる装置構成となっております。これにより、従来行われていた作業後の目視による信号現示確認に替わり、商用周波の位相を電氣的に確認及び測定、記録できる測定器です。

GPSと電気測定の融合！！

使用例

- ・信号トランス及び低圧ケーブルの絶縁測定後の電圧位相測定
- ・トランス交換及び低圧ケーブル張替え後の電圧位相測定
- ・送電元、受電端が遠隔地の場合の、相互の電圧位相測定



親

子

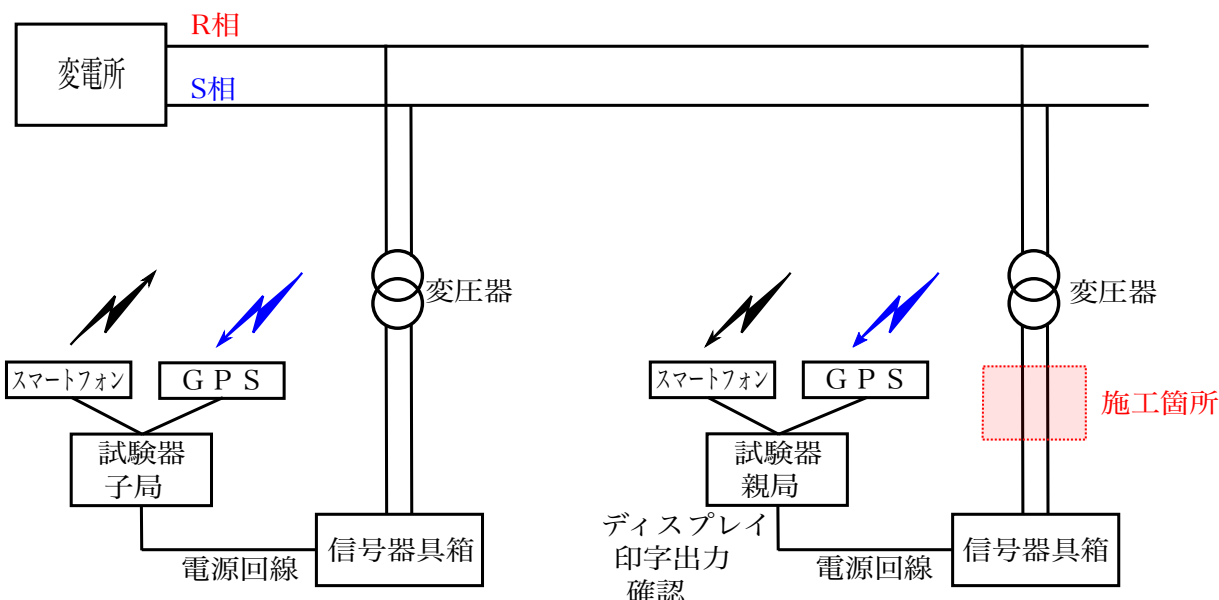
GPS同期信号

印字結果

```

*****
** 測定結果 **
*****
測定日 2017年03月09日
測定時間 10時26分
入力電圧 102.7V
位相差 0度
判定結果 OK
    
```

構成図・特徴



- ① 起動時に電源周波数（50Hz／60Hz）の判定を行います。
- ② 親局と子局で計測した時間差と電源周波数を利用して位相差を算出します。
- ③ 位相差0度±10度を同相、170度～180度及び-170度～-180度を逆相と判定します。
- ④ スマートフォンにて子局が測定データを音声帯域で送信し、親局が受信して判定します。
- ⑤ 時刻表示として、位相判断完了時の時刻を両装置のGPSから取得して表示します。
- ⑥ 試験内容を親局のディスプレイに表示及び内蔵プリンタで測定結果を印字出力します。

項目	仕様	
周囲温度	0～50℃	
周囲湿度	30～80%RH（結露なきこと）	
入力電圧	範囲 AC85V～AC125V 誤差±3.0%rdg±8dgt	
位相差	範囲 -180度から180度 誤差±5度	
	親局	子局
消費電力	140VA以下	25VA以下
寸法	390mm×308mm×171.5mm (突起部を除く)	390mm×308mm×171.5mm (突起部を除く)
質量	約6kg	約5kg
ディスプレイ	3.5型TFT LCD 320×240ドット	—
プリンタ	サーマルラインドット方式 感熱紙	—
付属品	・電源ケーブル2種（コンセント、バナナプラグ） ・ワニ口クリップ ・GPSアンテナ	
	・4極プラグケーブル ・Lightning変換ケーブル ・USB Type-C変換ケーブル	



株式会社 **三輝製作所**

本 社

〒110-0015 東京都台東区東上野1丁目28番12号 新御徒町KMビル2F
 NTT：TEL 03-3831-4301 FAX 03-3831-4302
 J R：TEL 057-3779 FAX 057-3789

大阪事業所

〒565-0803 大阪府吹田市新芦屋下4番17号
 NTT：TEL 06-6876-3571 FAX 06-6876-7607
 J R：TEL 071-3718 FAX 071-3718(切替)

